

文芸きくち



万句の里俳句会 5月例会

靄霽もろはれて一山しん椎の花明り
母の日の家族の絆つな繋ぎゆく
孤独なる時は砂蹴すり蟻地獄
いく度も風に躓つまずき初蝶つば来
宮の杜みやの覆おほひつくして若葉わかしかな

中路 郁子
宮本 敏子
光本とよいち
松永 久子
宮本 雅子

七城短歌会 5月詠草

先人も伝説知らぬ辻地蔵かたへはこうべ失いおわす
友誘ひ散歩は安全リバーサイド巷に多発の輪禍を憂いて
青空に白く一筋飛行機雲天気は下り目伝説ありぬ
ざわめきて大粒の雨庭襲う池に次つき水輪広がる
初咲きの白花香を添ゆ晚白袖令和の風に目覚めたりしか

嶋田 晴美
緒方 寛子
緒方 正俊
高木 精
佐々 重弘

せせらぎ俳句会 5月例会

菖蒲湯や元気な九九の聞こえ来る
祖父の名の一字ありて初幟
朝日浴び地に影写し若楓
櫻しべ降るや老いゆく身ほとりに
初夏の風若き象徴船出かな

森 正子
坂崎ユキ子
青木ユリ子
藤本 邦治
寺本 和子

「里」短歌会 5月詠草

戦時下の「昭和」、平成令和へと生き来て黙す一人の生活
麦秋の畦にカラスと白鷺の一緒にいるよ令和元年
花風狭庭一面散る木花待ちいた雨のゆるりと降りて
小雨の中茶碗手にする有田市店奥の老女笑みの優しき
ホールには子らの元気が満ち満ちて令和の風の今吹き初める

山城 雅子
緒方 悦子
梶原美智代
桑野 睦子
松本 和子

旭志文芸教室俳句の会 5月詠草

卒業や仰げば尊し昭和ッ子
桜かくし平成名残り都心かな
転作の大根の花美はしきかな
こいのぼり飛行機雲を追いかける
むしろ敷く春りんどうをさけながら

芹川 蓉子
藤本けい子
中尾ヨシコ
芹川のり子
水谷 ミネ

溪流短歌会 6月詠草

「令和」成り奈良の時代より脈々と継がれし和歌は日本の心
野を駆け山を抜けて百千鳥囀る声は瑠璃色のこゑ
薄れゆく記憶をたどる今日の日の梅花空木の白の優しさ
起き抜けの鏡に映る己が顔いや、もしかして亡き母の顔
バス電車乗りつぐ度に若き人さつと席立つ杖つく我に

田中 遙子
中川 愛子
山城 雅子
堤 よしみ
山田 弘子

菊池短歌会 6月詠草

富士山は活火山なりしとぞ知りぬそは竹取の物語より
白鷺は哀しからずや只一羽瀬音昏れゆく黒川の堰
部屋ぬちに原子炉の灯のあまねくて手くらがりにてふ陰を失ふ
パッキンの少し緩めるポットなれど夏の寒さの老いのぬくもり
賞品の西瓜につられ弓をひく我ら二百のクワガタの如し

古賀 勝士
中川 愛子
怒留湯健蓉
安藤 則子
川口すみ子

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。

万句の里俳句会
せせらぎ俳句会
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151
藤本 ☎0968(38)4087
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
「里」短歌会 / 溪流短歌会
木原 ☎090(5284)2418
菊池短歌会 古賀 ☎0968(25)1764